「社会意識に関する世論調査」の概要

平成29年4月
内閣府政府広報室

調査対象 全国18歳以上の日本国籍を有する者10,000人
有効回収数 5,993人（回収率59.9%）

調査期間 平成29年1月19日～2月5日（調査員による個別面接聴取）

調査目的 社会や国に対する国民の基本的意識の動向を調査し、広く行政一般のための基礎資料とする。

調査項目 1 国や社会との関わりについて
2 社会の現状に対する認識について
3 国の政策に対する評価について

調査実績 昭和43年度から原則毎年度実施し、今回は46回目。
（平成18年度の調査から、調査対象者に調査主体が「内閣府」であることを提示した上で実施。）

※平成28年度から調査対象者の年齢を18歳以上に引き下げているため、20歳以上を対象としていた前回調査までとの単純な比較には、注意を要する。
1 国や社会との関わりについて
（1）国を愛する気持ちの程度

問1 「国を愛する」という気持ちについて伺います。あなたは、他の人と比べて、「国を愛する」という気持ちは強い方だと思いますか。それとも、弱い方だと思いますか。この中から1つだけお答えください。

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>平成29年1月</th>
<th>(参考)28年2月</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>強い（小計）</td>
<td>55.9%</td>
<td>55.5%</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>非常に強い</td>
<td>16.1%</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>どちらかといえば強い</td>
<td>39.8%</td>
</tr>
<tr>
<td>どちらともいえない（わからない）</td>
<td>38.1%</td>
<td>38.4%</td>
</tr>
<tr>
<td>弱い（小計）</td>
<td>6.0%</td>
<td>6.1%</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>どちらかといえば弱い</td>
<td>5.3%</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>非常に弱い（全くない）</td>
<td>0.7%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（該当者数）
総数（5,993人）

性別
男性（2,824人）
女性（3,169人）

年齢
18～29歳（471人）
30～39歳（692人）
40～49歳（1,056人）
50～59歳（909人）
60～69歳（1,333人）
70歳以上（1,532人）

参考：国を愛する気持ちの程度（時系列）

（注）平成29年2月調査までは20歳以上の者、29年1月調査から18歳以上の者を対象とした（以下同じ。）
平成29年1月（参考）28年2月

・そう思う 73.4%  74.9%
・そうは思わない 13.2%  12.6%
・わからない 13.3%  12.5%

参考：国を愛する気持ちを育てる必要性（時系列）
(3) 社会志向か個人志向か

問3 国民は、「国や社会のことにもっと目を向けるべきだ」という意見と、「個人生活の充実をもっと重視すべきだ」という意見がありますが、あなたのお考えは、このうちどちらの意見に近いですか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>平成 29年1月</th>
<th>(参考) 28年2月</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>国や社会のことにもっと目を向けるべきだ</td>
<td>47.3%</td>
</tr>
<tr>
<td>個人生活の充実をもっと重視すべきだ</td>
<td>40.5%</td>
</tr>
<tr>
<td>一概にいえない</td>
<td>11.3%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(該当者数)

| 性別 | 国や社会のことにもっと目を向けるべきだ | 一概にいえない | 個人生活の充実をもっと重視すべきだ |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 男 | 48.2% | 10.1% | 41.2% |
| 女 | 46.4% | 12.4% | 39.9% |

| 年齢 | 国や社会のことにもっと目を向けるべきだ | 一概にいえない | 個人生活の充実をもっと重視すべきだ |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 18~29歳 | 47.1% | 7.2% | 46.2% |
| 30~39歳 | 46.5% | 7.9% | 44.9% |
| 40~49歳 | 47.3% | 11.4% | 41.2% |
| 50~59歳 | 48.3% | 11.3% | 39.7% |
| 60~69歳 | 47.3% | 12.4% | 39.8% |
| 70歳以上 | 47.1% | 13.1% | 37.7% |

参考：社会志向か個人志向か（時系列）

(注) 昭和50年12月調査までは、「これからは国民は国や社会のこともっと目を向けるべきだ」という意見と、「まだまだ個人の生活の充実に専心すべきだ」という意見がありますが、あなたの考えではこのどちらの意見に近いですか。
(4) 社会への貢献意識

問4 あなたは、日頃、社会の一員として、何か社会のために役立ちたいと思っていますか。それとも、あまりそのようなことは考えていませんか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>年齢</th>
<th>思っている</th>
<th>わからない</th>
<th>あまり考えていない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>18~29歳</td>
<td>63.5%</td>
<td>3.4%</td>
<td>33.1%</td>
</tr>
<tr>
<td>30~39歳</td>
<td>65.2%</td>
<td>2.5%</td>
<td>32.4%</td>
</tr>
<tr>
<td>40~49歳</td>
<td>70.5%</td>
<td>3.1%</td>
<td>26.4%</td>
</tr>
<tr>
<td>50~59歳</td>
<td>72.3%</td>
<td>2.0%</td>
<td>25.7%</td>
</tr>
<tr>
<td>60~69歳</td>
<td>70.5%</td>
<td>1.4%</td>
<td>28.1%</td>
</tr>
<tr>
<td>70歳以上</td>
<td>54.2%</td>
<td>3.0%</td>
<td>42.8%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

参考: 社会への貢献意識 (時系列)
社会への貢献内容

（問4で「思っている」と答えた方（3,921人）に）

問　何か社会のために役立ちたいと思っているのはどのようなことですか。この中からいくつでもあげてください。（複数回答）

（上位5項目）

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>平成29年1月</th>
<th>参考28年2月</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>社会福祉に関する活動</td>
<td>38.8%</td>
<td>35.1%</td>
</tr>
<tr>
<td>町内会などの地域活動</td>
<td>30.1%</td>
<td>32.9%</td>
</tr>
<tr>
<td>自然・環境保護に関する活動</td>
<td>29.2%</td>
<td>31.6%</td>
</tr>
<tr>
<td>自己の職業を通して</td>
<td>24.8%</td>
<td>25.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>自主防災活動や災害援助活動</td>
<td>24.2%</td>
<td>25.4%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（注）平成28年2月調査では、「社会福祉に関する活動（老人や障害者などに対する介護、身の回りの世話、給食、保育など）」としていた。

図表

<table>
<thead>
<tr>
<th>貢献内容</th>
<th>百分率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>社会福祉に関する活動（老人や障害者、子どもに対応する、身の回りの世話、介護、食事の提供、保育など）</td>
<td>38.8%</td>
</tr>
<tr>
<td>町内会などの地域活動（お祝い事や不幸などの手伝い、町内会や自治会などの役員、防犯や防火活動など）</td>
<td>30.1%</td>
</tr>
<tr>
<td>自然・環境保護に関する活動（環境美化、リサイクル活動、ペットベルからの回収など）</td>
<td>29.2%</td>
</tr>
<tr>
<td>自己の職業を通じて</td>
<td>24.8%</td>
</tr>
<tr>
<td>自主防災活動や災害援助活動</td>
<td>24.2%</td>
</tr>
<tr>
<td>体育・スポーツ・文化に関する活動（スポーツ・レクリエーション指導、祭り、学校でのクラブ活動における指導など）</td>
<td>21.4%</td>
</tr>
<tr>
<td>家事や子どもの養育を通じて</td>
<td>20.5%</td>
</tr>
<tr>
<td>保健・医療・衛生に関する活動（病院ボランティアなど）</td>
<td>17.1%</td>
</tr>
<tr>
<td>交通安全に関する活動（子どもの登下校時の安全監視など）</td>
<td>16.9%</td>
</tr>
<tr>
<td>募金活動、チャリティーバザー</td>
<td>14.9%</td>
</tr>
<tr>
<td>人々の学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動（教材、英語、書道など）</td>
<td>13.3%</td>
</tr>
<tr>
<td>公共施設での活動（公民館における託児、博物館の展示説明員など）</td>
<td>10.6%</td>
</tr>
<tr>
<td>国際交流（協力）に関する活動（通訳、県民援助、技術援助、留学生援助など）</td>
<td>10.3%</td>
</tr>
<tr>
<td>青少年健全育成に関する活動（ボーイスカウト・ガールスカウト活動、子ども会など）</td>
<td>8.6%</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>1.8%</td>
</tr>
<tr>
<td>わからない</td>
<td>1.6%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

全校数（N=3,921人、M.T.=284.1%）
問5 あなたは、今後、日本人は、個人の利益よりも国民全体の利益を大切にすべきだと思いますか。それとも、国民全体の利益よりも個人個人の利益を大切にすべきだと思いますか。

平成29年1月 (参考)28年2月

- 個人の利益よりも国民全体の利益を大切にすべきだ 49.3% 48.0%
- 国民全体の利益よりも個人個人の利益を大切にすべきだ 32.7% 33.9%
- 一概にいえない 16.1% 16.4%

(該当者数)
総数 (5,993人)

(性) 男性 (2,824人)
- 個人の利益よりも国民全体の利益を大切にすべきだ 51.5%
- 国民全体の利益よりも個人個人の利益を大切にすべきだ 32.9%
- 一概にいえない 14.2%

女性 (3,169人)
- 個人の利益よりも国民全体の利益を大切にすべきだ 47.4%
- 国民全体の利益よりも個人個人の利益を大切にすべきだ 32.6%
- 一概にいえない 17.8%

(年齢) 18〜29歳 (471人)
- 個人の利益よりも国民全体の利益を大切にすべきだ 50.7%
- 国民全体の利益よりも個人個人の利益を大切にすべきだ 38.9%
- 一概にいえない 10.3%

30〜39歳 (692人)
- 個人の利益よりも国民全体の利益を大切にすべきだ 45.1%
- 国民全体の利益よりも個人個人の利益を大切にすべきだ 40.0%
- 一概にいえない 13.3%

40〜49歳 (1,056人)
- 個人の利益よりも国民全体の利益を大切にすべきだ 50.3%
- 国民全体の利益よりも個人個人の利益を大切にすべきだ 32.2%
- 一概にいえない 17.8%

50〜59歳 (909人)
- 個人の利益よりも国民全体の利益を大切にすべきだ 48.7%
- 国民全体の利益よりも個人個人の利益を大切にすべきだ 31.5%
- 一概にいえない 19.8%

60〜69歳 (1,333人)
- 個人の利益よりも国民全体の利益を大切にすべきだ 49.1%
- 国民全体の利益よりも個人個人の利益を大切にすべきだ 31.1%
- 一概にいえない 19.8%

70歳以上 (1,532人)
- 個人の利益よりも国民全体の利益を大切にすべきだ 50.7%
- 国民全体の利益よりも個人個人の利益を大切にすべきだ 30.0%
- 一概にいえない 19.3%

参考: 国民全体の利益か個人の利益か（時系列）
(6) 現在の地域での付き合いの程度

問6 あなたは、地域での付き合いをどの程度していますか。この中から1つだけお答えください。

<table>
<thead>
<tr>
<th>付き合っている（小計）</th>
<th>平成 29年1月</th>
<th>(参考) 28年2月</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>付き合っている</td>
<td>67.0%</td>
<td>67.8%</td>
</tr>
<tr>
<td>・よく付き合っている</td>
<td>17.5%</td>
<td>16.9%</td>
</tr>
<tr>
<td>・ある程度付き合っている</td>
<td>49.5%</td>
<td>50.9%</td>
</tr>
<tr>
<td>付き合っていない（小計）</td>
<td>32.9%</td>
<td>32.1%</td>
</tr>
<tr>
<td>・あまり付き合っていない</td>
<td>26.1%</td>
<td>25.6%</td>
</tr>
<tr>
<td>・全く付き合っていない</td>
<td>6.7%</td>
<td>6.5%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

ドイツ

<table>
<thead>
<tr>
<th>性</th>
<th>男性（2,824人）</th>
<th>女性（3,169人）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>付き合っている（小計）</td>
<td>18.0%</td>
<td>17.1%</td>
</tr>
<tr>
<td>・よく付き合っている</td>
<td>5.5%</td>
<td>5.9%</td>
</tr>
<tr>
<td>・ある程度付き合っている</td>
<td>33.8%</td>
<td>52.7%</td>
</tr>
<tr>
<td>付き合っていない（小計）</td>
<td>82.9%</td>
<td>82.9%</td>
</tr>
<tr>
<td>・あまり付き合っていない</td>
<td>64.5%</td>
<td>64.5%</td>
</tr>
<tr>
<td>・全く付き合っていない</td>
<td>17.4%</td>
<td>17.4%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

年齢

<table>
<thead>
<tr>
<th>年齢</th>
<th>18〜29歳（471人）</th>
<th>30〜39歳（692人）</th>
<th>40〜49歳（1,056人）</th>
<th>50〜59歳（909人）</th>
<th>60〜69歳（1,333人）</th>
<th>70歳以上（1,532人）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>付き合っている</td>
<td>5.5%</td>
<td>6.2%</td>
<td>10.9%</td>
<td>12.7%</td>
<td>21.2%</td>
<td>30.8%</td>
</tr>
<tr>
<td>・よく付き合っている</td>
<td>11.8%</td>
<td>15.2%</td>
<td>24.3%</td>
<td>25.6%</td>
<td>30.4%</td>
<td>48.6%</td>
</tr>
<tr>
<td>・ある程度付き合っている</td>
<td>33.8%</td>
<td>45.2%</td>
<td>49.5%</td>
<td>55.8%</td>
<td>53.9%</td>
<td>48.6%</td>
</tr>
<tr>
<td>付き合っていない</td>
<td>82.9%</td>
<td>82.9%</td>
<td>82.9%</td>
<td>82.9%</td>
<td>82.9%</td>
<td>82.9%</td>
</tr>
<tr>
<td>・あまり付き合っていない</td>
<td>64.5%</td>
<td>64.5%</td>
<td>64.5%</td>
<td>64.5%</td>
<td>64.5%</td>
<td>64.5%</td>
</tr>
<tr>
<td>・全く付き合っていない</td>
<td>17.4%</td>
<td>17.4%</td>
<td>17.4%</td>
<td>17.4%</td>
<td>17.4%</td>
<td>17.4%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

都市規模

<table>
<thead>
<tr>
<th>都市規模</th>
<th>大都市（1,494人）</th>
<th>中都市（2,488人）</th>
<th>小都市（1,413人）</th>
<th>郡村（598人）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>付き合っている</td>
<td>5.5%</td>
<td>5.5%</td>
<td>5.5%</td>
<td>5.5%</td>
</tr>
<tr>
<td>・よく付き合っている</td>
<td>11.8%</td>
<td>15.2%</td>
<td>24.3%</td>
<td>25.6%</td>
</tr>
<tr>
<td>・ある程度付き合っている</td>
<td>33.8%</td>
<td>45.2%</td>
<td>49.5%</td>
<td>53.9%</td>
</tr>
<tr>
<td>付き合っていない</td>
<td>82.9%</td>
<td>82.9%</td>
<td>82.9%</td>
<td>82.9%</td>
</tr>
<tr>
<td>・あまり付き合っていない</td>
<td>64.5%</td>
<td>64.5%</td>
<td>64.5%</td>
<td>64.5%</td>
</tr>
<tr>
<td>・全く付き合っていない</td>
<td>17.4%</td>
<td>17.4%</td>
<td>17.4%</td>
<td>17.4%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

参考：現在の地域での付き合いの程度（時系列）
（7）望ましい地域での付き合いの程度
問7 地域での付き合いは、どの程度が望ましいと思いますか。この中から1つだけお答えください。

- 住民全ての間で困ったときに互いに助け合う 41.4% 43.0%
- 気の合う住民の間で困ったときに助け合う 26.0% 25.1%
- 困ったときに助け合うことまではしなくても、住民がみんなで行事や催しに参加する 16.6% 15.8%
- 困ったときに助け合うことまではしなくても、住民の間で世間話や立ち話をする 6.4% 6.7%
- 困ったときに助け合うことまではしなくても、住民の間であいさつを交わす 7.4% 7.3%
- 地域での付き合いは必要ない 0.9% 1.0%

参考：望ましい地域での付き合いの程度（時系列）
2 社会の現状に対する認識について

（1）現在の世相（明るいイメージ）

問8 あなたは、現在の世相をひとことで言えば、明るいイメージとしては、どのような表現があてはまると思いますか。この中からいくつでもあげてください。（複数回答）

(上位3項目)

平成29年1月 (参考)28年2月

・平和である 61.6%  61.1%
・安定している 28.4%  25.4%
・おもいやりがある 18.6%  18.8%

(複数回答)

参考：現在の世相－明るいイメージ（上位3項目、時系列）

（注）平成9年12月調査までは、「あなたは、現在の世相を一言で言えば、良い意味では、どのような表現があてはまるか」と聞いている。
（2）現在の世相（暗いイメージ）

問9　あなたは、現在の世相をひとことで言えば、暗いイメージとしては、どのような表現があてはまらと思いますか。この中からいくつでもあげてください。（複数回答）

(上位4項目)

<table>
<thead>
<tr>
<th>無責任の風潮がつよい</th>
<th>39.5%</th>
<th>42.2%</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>自分本位である</td>
<td>36.6%</td>
<td>36.9%</td>
</tr>
<tr>
<td>ゆとりがない</td>
<td>31.7%</td>
<td>33.7%</td>
</tr>
<tr>
<td>連帯感が乏しい</td>
<td>28.6%</td>
<td>26.6%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(複数回答)

参考：現在の世相—暗いイメージ（上位4項目、時系列）

(上位4項目)

<table>
<thead>
<tr>
<th>無責任の風潮がつよい</th>
<th>59.5%</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>自分本位である</td>
<td>48.1%</td>
</tr>
<tr>
<td>ゆとりがない</td>
<td>40.4%</td>
</tr>
<tr>
<td>連帯感が乏しい</td>
<td>42.2%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（注）平成9年12月調査までは、「次に、悪い意味では、どのような表現があてはまらと思いますか。」と聞いている。
（３）日本の誇り

問10 あなたは、日本の国や国民について、誇りに思うこととはどんなことですか。
この中からいくつでもあげてください。（複数回答）

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>平成29年1月</th>
<th>(參考)28年2月</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>治安のよさ</td>
<td>58.7%</td>
<td>56.6%</td>
</tr>
<tr>
<td>美しい自然</td>
<td>56.1%</td>
<td>55.4%</td>
</tr>
<tr>
<td>すぐれた文化や芸術</td>
<td>51.1%</td>
<td>49.9%</td>
</tr>
<tr>
<td>長い歴史と伝統</td>
<td>47.2%</td>
<td>46.6%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

【年齢別】日本の誇り（上位4項目）

<table>
<thead>
<tr>
<th>年齢</th>
<th>治安のよさ</th>
<th>美しい自然</th>
<th>すぐれた文化や芸術</th>
<th>長い歴史と伝統</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>18〜29歳</td>
<td>58.4</td>
<td>43.3</td>
<td>52.4</td>
<td>43.1</td>
</tr>
<tr>
<td>30〜39歳</td>
<td>64.2</td>
<td>49.4</td>
<td>56.8</td>
<td>43.5</td>
</tr>
<tr>
<td>40〜49歳</td>
<td>63.7</td>
<td>55.3</td>
<td>54.9</td>
<td>45.2</td>
</tr>
<tr>
<td>50〜59歳</td>
<td>62.7</td>
<td>60.2</td>
<td>57.0</td>
<td>53.5</td>
</tr>
<tr>
<td>60〜69歳</td>
<td>61.3</td>
<td>62.8</td>
<td>52.4</td>
<td>50.4</td>
</tr>
<tr>
<td>70歳以上</td>
<td>48.2</td>
<td>55.3</td>
<td>41.0</td>
<td>44.9</td>
</tr>
</tbody>
</table>
（4）社会の満足度（満足している点）

問11 あなたは、現在の社会において満足している点は何ですか。この中からいくつでもあげてください。（複数回答）

(上位6項目)

<table>
<thead>
<tr>
<th>満足している点</th>
<th>平成29年1月</th>
<th>(参考)平成28年2月</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>良質な生活環境が整っている</td>
<td>43.2%</td>
<td>42.7%</td>
</tr>
<tr>
<td>心と身体の健康が保たれる</td>
<td>27.0%</td>
<td>27.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>向上心・向学心を伸ばしやすい</td>
<td>17.8%</td>
<td>17.9%</td>
</tr>
<tr>
<td>人と人との認め合い交流しやすい</td>
<td>17.1%</td>
<td>17.1%</td>
</tr>
<tr>
<td>働きやすい環境が整っている</td>
<td>15.7%</td>
<td>-</td>
</tr>
<tr>
<td>熟年・高齢者が社会と関わりやすい</td>
<td>14.7%</td>
<td>12.8%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

特にない | 18.2% | 19.6% |

(注) 選択肢「働きやすい環境が整っている」は、平成28年2月調査では、「働き方を選択しやすい」（回答比率17.3%）としていた。

【年齢別】社会の満足度－満足している点（上位6項目）

<table>
<thead>
<tr>
<th>年齢</th>
<th>良質な生活環境が整っている</th>
<th>心と身体の健康が保たれる</th>
<th>向上心・向学心を伸ばしやすい</th>
<th>人と人との認め合い交流しやすい</th>
<th>働きやすい環境が整っている</th>
<th>熟年・高齢者が社会と関わりやすい</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>18~29歳</td>
<td>49.5</td>
<td>34.0</td>
<td>18.3</td>
<td>15.7</td>
<td>18.5</td>
<td>8.9</td>
</tr>
<tr>
<td>30~39歳</td>
<td>50.3</td>
<td>28.8</td>
<td>14.3</td>
<td>14.7</td>
<td>17.8</td>
<td>8.8</td>
</tr>
<tr>
<td>40~49歳</td>
<td>47.3</td>
<td>26.7</td>
<td>16.8</td>
<td>13.4</td>
<td>17.9</td>
<td>9.5</td>
</tr>
<tr>
<td>50~59歳</td>
<td>49.7</td>
<td>25.7</td>
<td>20.1</td>
<td>16.5</td>
<td>18.6</td>
<td>11.4</td>
</tr>
<tr>
<td>60~69歳</td>
<td>40.0</td>
<td>27.7</td>
<td>20.3</td>
<td>19.3</td>
<td>15.7</td>
<td>17.9</td>
</tr>
<tr>
<td>70歳以上</td>
<td>34.1</td>
<td>24.6</td>
<td>16.3</td>
<td>19.6</td>
<td>10.8</td>
<td>21.9</td>
</tr>
</tbody>
</table>
（5）社会の満足度（満足していない点）

問12 あなたは、現在の社会において満足していない点は何ですか。この中からいくつでもあげてください。（複数回答）

<table>
<thead>
<tr>
<th>(上位6項目)</th>
<th>平成29年1月</th>
<th>(参考)28年2月</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>・経済的なゆとりと見通しが持てない</td>
<td>43.0%</td>
<td>44.4%</td>
</tr>
<tr>
<td>・若者が社会での自立を目指しにくい</td>
<td>35.5%</td>
<td>37.1%</td>
</tr>
<tr>
<td>・家庭が子育てしにくい</td>
<td>28.7%</td>
<td>28.5%</td>
</tr>
<tr>
<td>・働きやすい環境が整っていない</td>
<td>25.2%</td>
<td>25.2%</td>
</tr>
<tr>
<td>・女性が社会での活躍を志向しにくい</td>
<td>24.5%</td>
<td>23.5%</td>
</tr>
<tr>
<td>・熟年・高齢者が社会に関わりにくい</td>
<td>23.3%</td>
<td>25.2%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（注）選択肢「働きやすい環境が整っていない」は、平成28年2月調査では、「働き方が選択しにくい」（回答比率21.7%）としていた。

【年齢別】社会の満足度－満足していない点（上位6項目）

<table>
<thead>
<tr>
<th>年齢</th>
<th>見通経済的なゆとりと見通しが持てないと</th>
<th>自若者が社会での自立を目指しにくい</th>
<th>し家庭が子育てしにくい</th>
<th>整働きやすい環境が持てないと</th>
<th>整女性が社会での活躍を志向しにくい</th>
<th>社会熟年と高齢者が社会に関わりにくい</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>18～29歳</td>
<td>41.0</td>
<td>30.1</td>
<td>32.7</td>
<td>26.5</td>
<td>26.1</td>
<td>20.2</td>
</tr>
<tr>
<td>30～39歳</td>
<td>49.0</td>
<td>33.2</td>
<td>40.2</td>
<td>35.4</td>
<td>35.0</td>
<td>19.8</td>
</tr>
<tr>
<td>40～49歳</td>
<td>49.9</td>
<td>40.5</td>
<td>35.2</td>
<td>30.9</td>
<td>32.9</td>
<td>24.7</td>
</tr>
<tr>
<td>50～59歳</td>
<td>43.5</td>
<td>42.6</td>
<td>30.3</td>
<td>31.0</td>
<td>30.4</td>
<td>28.8</td>
</tr>
<tr>
<td>60～69歳</td>
<td>43.7</td>
<td>40.9</td>
<td>28.1</td>
<td>23.9</td>
<td>22.6</td>
<td>24.5</td>
</tr>
<tr>
<td>70歳以上</td>
<td>35.2</td>
<td>26.0</td>
<td>17.4</td>
<td>13.9</td>
<td>11.7</td>
<td>20.6</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(複数回答、単位:%)
（6）社会全体の満足度

問13 あなたは、現在の社会に全体として満足していますか。それとも、満足していませんか。この中から1つだけお答えください。

満足している（小計）
・満足している 8.2%  7.1%
・やや満足している 57.8%  54.9%
満足していない（小計）
・あまり満足していない 27.4%  31.0%
・満足していない 6.0%  6.3%

参考：社会全体の満足度（時系列）
3 国の政策に対する評価について
（1）国の政策への民意の反映程度
問14 あなたは、全般的にみて、国の政策に国民の考えや意見がどの程度反映されていると思いますか。この中から1つだけお答えください。

<table>
<thead>
<tr>
<th>平成29年1月</th>
<th>(参考)28年2月</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>反映されている（小計）</td>
<td>34.6%</td>
</tr>
<tr>
<td>・かなり反映されている</td>
<td>1.9%</td>
</tr>
<tr>
<td>・ある程度反映されている</td>
<td>32.7%</td>
</tr>
<tr>
<td>反映されていない（小計）</td>
<td>62.1%</td>
</tr>
<tr>
<td>・あまり反映されていない</td>
<td>50.6%</td>
</tr>
<tr>
<td>・ほとんど反映されていない</td>
<td>11.6%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(該当者数)

[国際]総数（5,993人）
- 男 性（2,824人）
- 女 性（3,169人）

[年齢]18～29歳（471人）
- 30～39歳（692人）
- 40～49歳（1,056人）
- 50～59歳（909人）
- 60～69歳（1,333人）
- 70歳以上（1,532人）

参考：国の政策への民意の反映程度（時系列）
ア 国の政策への民意の反映方法

（問14で「ある程度反映されている」、「あまり反映されていない」、「ほとんど反映されていない」と答えた方（5,682人）に）

更に、それでは、どうすればよりよく反映されるようになると思いますか。この中から1つだけお答えください。

平成29年1月 （参考）28年2月

・政治家が国民の声をよく聞く 24.9%  25.6%
・国民が国の政策に関心を持つ 24.2%  22.0%
・国民が選挙のときに自覚して投票する 15.4%  16.7%
・政府が世論をよく聞く 14.9%  15.6%
・国民が参加できる場をひろげる 13.0%  12.8%
・マスコミが国民の意見をよく伝える 5.1%  4.8%

参考：国の政策への民意の反映方法（時系列）
(2) 良い方向に向かっている分野
問15 あなたは、現在の日本の状況について、良い方向に向かっていると思われるのは、どのような分野についてでしょうか。この中からいくつでもあげてください。（複数回答）

平成29年1月（参考）28年2月

- 医療・福祉 31.4% 29.2%
- 科学技術 25.8% 29.1%
- 治安 22.0% 19.8%
- 防災 21.2% 19.1%

（複数回答）

総数 (N=5,993人、M.T.=290.4%)
（３）悪い方向に向かっている分野
問16 あなたは、現在の日本の状況について、悪い方向に向かっていると思われるのは、どのような分野についてでしょうか。この中からいくつでもあげてください。（複数回答）

平成29年1月（参考）平成28年2月

・国の財政 37.1% 38.0%
・地域格差 28.5% 27.9%
・防衛 28.2% 24.2%
・景気 27.4% 29.5%
・外交 26.7% 18.6%

（複数回答）
参考1：良い方向に向かっている分野（上位4項目、時系列）

参考2：悪い方向に向かっている分野（上位5項目、時系列）